

酪農家の強い味方



酪農ヘルパーは、酪農家の1日8時間となつていて休暇等を取つた際、搾乳や飼料給与などの作業を代わつて行う人のことをいいます。現在猿払村では、4名の方が従事されています。

猿払村では、1990年5月1日に「猿払村酪農ヘルパー運営有限責任事業組合」が設立され、利用の予約やヘルパーの派遣日の調整等の運営を行っています。利用に当たっては、10日前までに予約をする必要がありますが、傷病等の緊急時については、その都度対応をすることとなります。1日の作業時間は、8時間以内を基本とし、作業開始時間は、朝は5時以降、夜は9時までで終了することが原則となっています。（作業時間の目安は、午前4時間、午後4時

間の1日8時間となつています。）組合がなかった時代は、酪農家が休暇を取ることができなかつたため、今では無くてはならない存在となっています。

また、就農を希望するヘルパーの研修機能を持ち、酪農の安定的発展に寄与する事を目的に、これまでに4名の方が新規就農していることから、猿払村の酪農業を支える大事な仕事となっています。

酪農ヘルパーになった場合、1カ月程度の研修期間があるため、未経験の方でも安心して仕事ができます。興味のある方はぜひ、「猿払村酪農ヘルパー運営有限責任事業組合」へお問い合わせください。

☎ 2-3311

時事雑感

毎年8月は夏フェスに参加して動き回り、終わってから日頃の運動不足を痛感するのが恒例行事となつていましたが、残念ながら今年は、新型コロナウイルスの影響で中止に。取っていたチケットは来年に振り替えたので、それまでに体力をつけること、運動不足の解消を目的に、フィットネス系のゲームを始めました。楽しみながらしっかり運動ができて、いいものを始めたなと思つて

います。運動をしたいけれど、何をしたらいいかわからない方や三日坊主の方におすすめです。

さて、今回の広報さるふつは、表紙・特集・裏表紙を猿払村の二大基幹産業である「酪農」にしてみました。統一感のある広報紙に仕上がったのではないかと思います。酪農に携わる方々に感謝をしながら、牛乳をたくさん飲んで応援していきましょう！〔S〕